

2005年センター報告・日誌

* ギールケ文庫保存事業

昨年に引き続き、一橋大学後援会より奨学寄付金の助成を受け、ギールケ文庫の保存修復事業を行った。全資料に対する劣化調査を継続すると共に、保存修復作業が必要な資料に対しては、保革油塗布、保護ジャケット・保存容器の作製、ページ修理、保存製本等の処置を施している。こうした保存修復作業は、製本家・書籍修復家からの指導を受けながら、センター内に設置されている貴重書保存修復工房のスタッフにより行われている。

* フランクリン文庫総目録作成及び CD-ROM 化事業

昨年に引き続き、125周年記念学術・保存事業振興基金の助成を受け、目録のデータシート作成および入力作業を行っている。

第6回西洋古典資料保存講習会

下記の内容で、7月11日(月)から7月13日(水)まで3日間開催し、全国の国公立大学図書館等から6名参加で、実習を中心に行った。

- | | |
|--|-------------------------|
| 1 材料と環境 | 増田勝彦 昭和女子大学教授 |
| 2 劣化調査と保存計画 | 名和賢美 社会科学古典
資料センター助手 |
| 3 製本構造、調査票の活用、クリーニング、
保存容器、保存製本、書見台 | 岡本幸治 製本家・書籍修復家 |

第25回西洋社会科学古典資料講習会

下記の内容で、11月8日(火)から11日(金)まで4日間開催し、全国の国公立大学図書館等から32名が参加した。

古典研究

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| (1) ルソーとモンテスキュー
—「政治的自由」のふたつの型— | 山崎耕一 社会科学古典
資料センター教授 |
| (2) オットー・フォン・ギールケのゲルマン法
思想と自然法思想 | 屋敷二郎 一橋大学助教授 |
| (3) 歴史学派とマーシャル(歴史学派からみた
マーシャル) | 西沢 保 一橋大学教授 |

書誌学

- | | |
|--|------------------|
| (1) 記述書誌を“読む”面白さ
—図書館員のための書誌学入門— | 武者小路信和 大東文化大学助教授 |
| (2) 啓蒙の書誌学
—ガブリエル・ペニョの「ビブリオロジー
Bibliologie」について— | 岩本吉弘 福島大学教授 |

- (3) 社会科学古典資料センターの古版本目録作成について 松尾恵子 社会科学古典資料センター助手
- (4) 15世紀西洋活版印刷本インキュナブラの手ほどき 雪嶋宏一 早稲田大学図書館司書

保存・修復

- (1) 紙資料の保存 増田勝彦 昭和女子大学教授
- (2) 製本の病理と書籍の保存 岡本幸治 製本家・書籍修復家
- 社会科学古典資料センター見学（書庫・所蔵資料・貴重書保存修復工房）

日誌（2005年1月～12月）

- 3月22日～24日 書庫棚板組立作業
- 3月31日 一橋大学社会科学古典資料センター年報 第25号発行
Study Series No. 53：松浦義弘『「ジェルミナルのドラマ」とは何だったのかー革命政府とパリ民衆ー』発行
Study Series No. 54：山崎耕一『ある地方弁護士における「啓蒙」ートゥルーズ高等法院弁護士 A.-A. ジャムの活動ー』発行
- 4月27日 第3回社会科学古典資料センター専門委員会
議題：1 平成16年度事業報告について
2 平成16年度決算報告について
3 平成17年度事業計画について
4 平成18年度概算要求について
5 講習会経費について
- 6月22日 第20回社会科学古典資料センター主催講演会
演題：フランス革命研究の現状 講師：ジャン＝クレマン・マルタン（パリ第一大学教授）
- 7月5日～12月27日 高本善四郎氏図書助成コーナー小展示「本を残す 本を伝える：書籍修復の世界」企画・展示
- 7月11日～13日 第6回西洋古典資料保存講習会開催
- 7月～8月 蔵書クリーニング、蔵書移動及び蔵書点検
- 9月5日～16日 しずおか世界翻訳コンクール10周年記念・県立中央図書館80周年記念「葵文庫」貴重書・古地図特別展示にセンター所蔵ゴロウニン所持「仏露辞典」出展
- 11月1日～11日 平成17年度一橋大学附属図書館企画展示「オウエンから一橋へ：消費組合の成立と展開」にセンター所蔵資料より22点出展
- 11月8日～11日 第25回西洋社会科学古典資料講習会開催

利用状況（2005年1月～12月）

開館日数	229日
利用者	298人
（学内）	105人
（学外）	104人

(文献複写)	89 人
利用冊数	661 冊
複写冊数	143 冊